

木の香る都市づくり事業活用「あおぞら学童保育クラブ」の現地調査について

1 あおぞら学童保育クラブの施設について



1 建築概要

- ・所在地：名古屋市緑区徳重1丁目1108番地、
- ・延床面積：270.76㎡
- ・規模：地上2階、
- ・構造：木造、
- ・木材使用量：105m³、
- ・竣工：2020年7月15日

2 施設概要

「木造板倉造りの保育所」 2020年9月現在、名古屋市で2棟しかない『木造板倉造りの学童保育所』であり、愛知県産木材を使用している。心地よい肌触りの無垢材に囲まれた空間で、子ども達がのびのび生活している。

3 コンセプト/特徴

プレハブの学童保育施設は、夏の暑さや独特の室内反響音があり、良い環境ではないため、木造で建設した。

木造施設は、①CO2の削減効果が期待できる、②林業と連携したSDGsの理念を反映した取り組みにつながる、③太陽光発電システム、プロパンガスの導入で災害時に機能するだけでなく地域にも開放することにより防災・減災にも寄与できる、という取り組みとしても注目され始めており、学童保育の枠組みを超えたものとなっている。

また、資金調達にあたり、クラウドファンディングを活用し、延べ585人から714万8000円の支援を得るとともに、あいち森と緑づくり事業の「木の香る都市づくり事業」の補助金1,150万円を活用している。

○愛知県産木材を使用した木造施設建設（板倉構法）のモデルケースとして、愛知県から全国へ発信している。

○材料の一部に第70回全国植樹祭で使った木材を再利用している。

○あいち森と緑づくり事業の「木の香る都市づくり事業」の補助金を建築に活用している。

2 現地調査について

○日時：令和2年10月9日 午前10時から午前11時30分

○あおぞら学童保育クラブ・施設の説明

一般社団法人 木の香るあおぞらの会 代表理事 池田徹弘氏

東海林建築設計事務所 東海林修氏

森と子ども未来会議発起人 鈴木健一氏

あおぞら学童保育クラブ 放課後児童支援員 小嶋哲志氏

○調査時の様子



施設の入口



1階の見学



2階の見学



説明



2階の見学



色使いの工夫